



低温焼付



省工程



耐候性



光沢調整

熱硬化形アクリル樹脂塗料

マジカルLTC

● Low Temperature Curing ●



KANSAI
PAINT

「マジクロン」

～環境にも品質にもこだわりたい

概要

● 特長

- ・マジクロンシリーズの低温焼付タイプです。(LTC=Low Temperature Curing)
- ・焼付工程の省エネルギー化、生産性の向上が可能です。
- ・メラミン樹脂系上塗塗料に比べ、耐候性・耐薬品性に優れています。

● 用途

- ・金属製品 ・電気機械 ・鋼製家具 ・建築内装部品など

● 適用下塗

- ・メタルグリップ各種 ・カンペ焼付ブラサフ、クリーン焼付ブラサフ各種
- ・エレクロンKG 各種 (カチオン電着塗料)

低温焼付

コレも
Point!

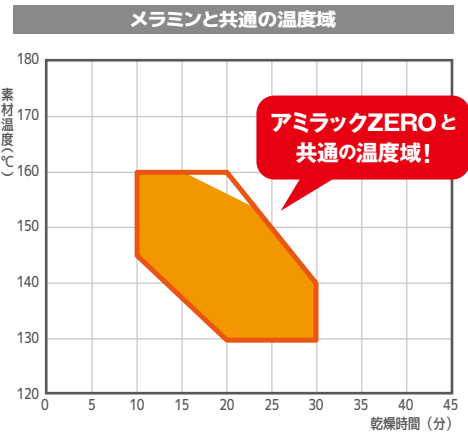
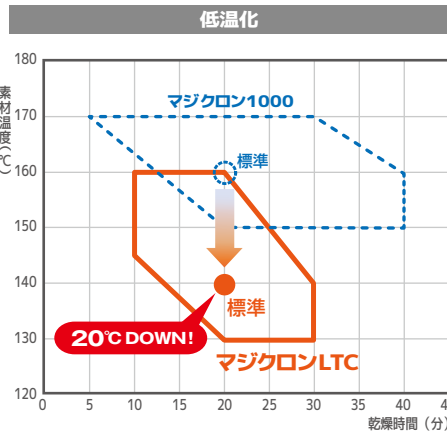
物温が上がりにくい
重厚な被塗物にも
有効!



低温焼付を実現

従来のアクリルは、焼付温度が160℃と工業塗装現場で多く使用されているメラミン(130～140℃)に比べて温度が高く、同時焼付が困難でした。

マジクロンLTCは**低温化**を実現したことにより、メラミンと合わせてご利用いただけることに加え、エネルギーコスト削減が期待できます。



省工程

コレも
Point!

作業効率UPにより、
生産性向上!



工程短縮による省エネルギー化に貢献

例えば、メラミンとアクリルをご使用されているお客様であれば、乾燥炉の温度を上げる必要がなくなり、30分以上の工程短縮効果があります。

	Total : 60分	
従来品の 場合	メラミン [130~140℃] × 20分	乾燥炉:昇温 20分 アクリル [160℃] × 20分
LTCの 場合	Total : 20分 メラミン&アクリル [130~140℃] × 20分	

乾燥炉の温度調節不要!
30分以上の時間短縮に貢献!

新章の始まり。

人のための「マジクロンLTC」～

用途事例

● 配電盤



● 鋼製家具



● 建築内装部品



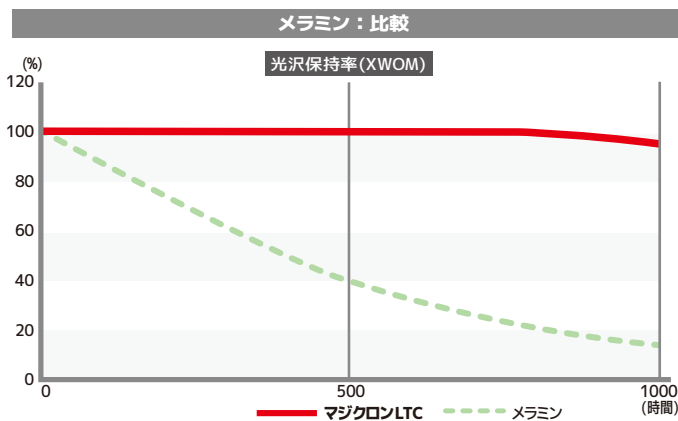
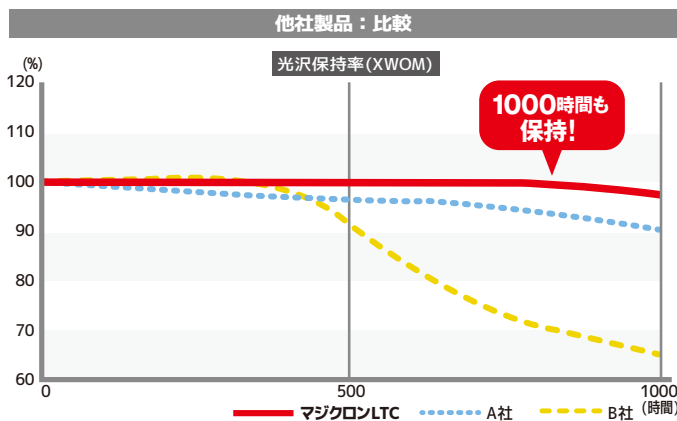
耐候性

優れた耐候性を保持

従来品と変わらない優れた耐候性を保持しています。

(XWOM1000h 光沢保持率80%以上)

競合他社品及びメラミンと比較しても、優れた耐候性を有している為、美しい輝きを保ち続け、製品の長寿命化に貢献します。



光沢調整

多彩な調色が可能!

艶の調整範囲が広く、ソリッド/メタリックともに艶消しまで調整可能です。

好みの光沢を再現いたします。 ※艶見本はイメージです。

コレも
Point!

メラミンに比べ、
耐黄変性に優れ、
美しい彩りを保ちます!



マジロンLTC

● 塗膜性能

素材	リン酸亜鉛処理板 (0.8t×70mm×150mm SPCC-SD)
塗装方法	エアスプレー
塗料	マジロンLTC ホワイト 艶有
焼付条件	140℃×20分 (素材温度×キープ時間)
膜厚	25~35μm

試験項目	試験条件	評価	試験結果
鏡面光沢度	60°鏡面光沢度	—	85以上
引っかき硬度	鉛筆法	破壊	3H
付着性	1mm碁盤目(クロスカット法)	残存マス目	100/100
耐おもり落下性	デュボン式 半径6.35mm×500g 30cm	—	異常なし
耐水性	40℃×240時間	外観	異常なし
		1mm碁盤目	100/100
耐湿性	50℃RH95% 240H	外観	異常なし
耐中性塩水噴霧性	5%NaCl 35℃×240時間	テープ片剝離幅	2mm以下
耐酸性	5%H ₂ SO ₄ 23℃×72時間	外観	異常なし
耐アルカリ性	5%NaOH 23℃×72時間	外観	異常なし
促進耐候性	キセノンウェザーメーター(XWOM) 1000時間	光沢保持率	80%以上
		色差	1.0以下

● 各種表示

消 防 法	危険物表示	合成樹脂エナメル塗料
	危険等級	Ⅲ
	区分	第4類 第2石油類
毒劇物表示		該当なし
有機溶剤区分		第2種有機溶剤等

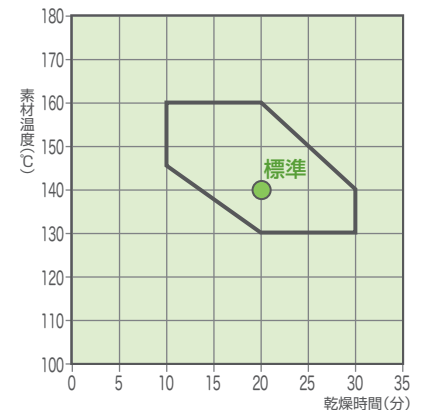
● 標準塗装条件

塗装方法	エアスプレー、エア霧化静電等
希釈シンナー	カンベ焼付用シンナー各種
希釈率	20~40%
希釈粘度 (23℃/岩田カップ)	12~30秒
標準焼付条件	140℃×20分(素材温度×キープ時間)
標準膜厚	25~35μm
理論塗布量	38g/m ² /10μm(ホワイト)

● シンナーの種類と適用目安

適用シンナー	塗装ブース温度(℃)			
	10	20	30	40
カンベ焼付用シンナー 1	○	○	○	○
カンベ焼付用シンナー 2	○	○	○	○
カンベ焼付用シンナー 3	○	○	○	○
カンベ焼付用シンナー 4	○	○	○	○
カンベ焼付用シンナー 5	○	○	○	○
カンベ焼付用シンナー 6	○	○	○	○
カンベ焼付用シンナー 7	○	○	○	○
カンベ焼付用シンナー 8	○	○	○	○
カンベ焼付用シンナー 9	ワキや仕上がり不良時にリターダーとしてご使用ください。(目安:5~20%添加)			
カンベ焼付用シンナー 10	静電塗装時の電気抵抗値調整用としてご使用ください。(目安:3~5%)			

● 焼付条件と適用範囲



ご使用上の注意事項

- 《予防策》
- ・容器を密封しておくこと。
 - ・熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。
 - ・規制当局が指定する保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること。
 - ・(静電気に敏感な物質を積みなおす場合は)製品が危険有害な気体を発生させるような揮発性の場合は)容器および受器を接地すること。
 - ・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
 - ・静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 - ・火花を発生しない工具を使用すること。
 - ・屋外または換気のよい場所でのみ使用すること。
 - ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
 - ・規制当局が指定する保護手袋を着用すること。
 - ・取扱い後はよく洗うこと。
 - ・規制当局が指定する保護眼鏡/保護面を着用すること。
 - ・使用前に取扱説明書を入手すること。
 - ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 - ・必要に応じて個人用保護具を使用すること。
 - ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 - ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 - ・(必要な時以外は)環境への放出を避けること。

- 《応急措置》
- ・(水がリスクを増大させる場合)火災の場合には、消火に規制当局が指定する適当な手段を使用すること。
 - ・皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに、汚染された衣類をすべて取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
 - ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 - ・皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。
 - ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 - ・皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。
 - ・特別処置が緊急に必要である。
 - ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 - ・直ちに医師に連絡すること。
 - ・ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること。
 - ・ばく露した場合: 医師に連絡すること。
 - ・(緊急処置が必要な場合) 特別処置が緊急に必要である。
 - ・気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること。
 - ・漏出物を回収すること。
- 《保管》
- ・涼しい所/換気のよい場所で保管すること。
 - ・施錠して保管すること。
- 《廃棄》
- ・内容物/容器を行政の規則に従って廃棄すること。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp



お近くの営業所は
こちらから!

各種カタログご覧になれます。

製品の改良等により、事前予告なしにデータ等の記載内容の変更を行う場合がありますが、これらにより生じた如何なる損害に関しても当社は責任を負いかねます。また、本書記載のデータ等は弊社にて実施した試験に基づくものであり、保証値ではありませんので、十分な事前確認の上でご使用ください。本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。また、食品衛生法には適合しておりませんが、食品用器具及び容器包装(直接食品と接触する箇所)への適用の際は、注意をお願い致します。

*本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。